

事務事業名		まつり開催運営支援事業		☒ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興			
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 ー 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所属	部課名	商工港湾部観光推進室		会計	款
	課長名	鈴木 弘		項	目
	係 名	電話	0192-27-3111	01	07
	担当者	高木隆幸	内線	114	01
				事業	09
				事務事業区分	
				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					
市内で開催されるまつりの実行委員会に対し、まつりの開催を支援するために負担金、補助金を交付している。 ・基石海岸観光まつり(基石海岸観光まつり実行委員会)…大船渡市の観光シーズンの幕開けを告げるまつり。市は実行委員会の事務局を担当している。 ・三陸・大船渡夏まつり(三陸・大船渡夏まつり実行委員会)…市内最大のイベント。震災前の人出は2日間で約20万人ともいわれた。大船渡商工会議所とともに市は事務局を担当している。 ・三陸大船渡さんままつり…大船渡港へ水揚げされたさんま等の提供及び販売を通じて水産都市「三陸大船渡」を全国へPRすることを目的として開催されているまつり。実行委員会の事務局は(一社)大船渡市観光物産協会が担当しており、市は実行委員となっている。 ・都市間交流事業…三陸・大船渡東京タワーさんままつり及び各都市交流事業の2つの事業に対する負担金となっている。三陸・大船渡東京タワーさんままつりは、「東京タワー」において、大船渡港へ水揚げされたさんま及び市内特産品をとおして水産都市及び観光都市「三陸大船渡」の知名度アップと水産物等の販路拡大を図ることを目的として開催されている。実行委員会の事務局は(一社)大船渡市観光物産協会が担当しており、市長が実行委員長となっている。各都市交流事業は、各交流都市及び復興支援の一環として開催されるイベント等に参加し、物産販路拡大を目的として実施している。(一社)大船渡市観光物産協会が事務局を担当している。 ・基石海岸で囲基まつり…市内内外の誰もが気軽に囲基を楽しめるイベント。事務局は、同まつり実行委員会(関東在住の方々) ・復興・大船渡全国ちんどんまつり…全国のプロ・アマのちんどん団体が大船渡に集結して開催。事務局は、同まつり実行委員会(大船渡商工会議所)					
全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
総投入量 (千円)	事業内訳	財源内訳	国庫支出金		
		都道府県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
人件費	事業費計(A)	0			
		正規職員従事人数			
		延べ業務時間			
		人件費計(B)	0		
トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

負担金…基石海岸観光まつり実行委員会、三陸・大船渡夏まつり実行委員会、三陸大船渡さんままつり、都市間交流事業
 開催支援補助金…三陸港まつり、盛岡夏まつり、基石海岸で囲基まつり、復興・大船渡全国ちんどんまつり

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

三陸大船渡さんままつり以外は前年度と同様。
 三陸大船渡さんままつりは、大船渡市初さんま・うに・アワビ・帆立・かき・ホヤ・わかめ祭に統合する。

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

- ・直接対象 まつり実行委員会
- ・間接対象 市民、観光客

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・まつりを円滑に運営してもらう。
- ・まつりを観覧していただくとともに、大船渡のすばらしさ、歴史などを知ってもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

- ・大船渡市を訪れる。
- ・魅力がPRされ、認知度が高まる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア まつり開催日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ まつり実行委員会、打合せ会開催回数	回
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 基石海岸観光まつりの入込観光客数	千人
シ 三陸・大船渡夏まつりの入込観光客数	千人
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

	年度	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			1,500		
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	24,707	25,900	23,277	23,500	23,500
		事業費計(A)	千円	24,707	25,900	23,277	25,000	23,500
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900	900
		人件費計(B)	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	28,307	29,500	26,877	28,600	27,100
⑤活動指標	ア	日	7	8	13	13	13	13
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	回	38	40	40	40	40	40
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	千人	25	19	30	19	30	30
	シ	千人	50	60	60	60	60	60
	ス							

事務事業ID	0450	事務事業名	まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

大船渡市夏まつりは昭和32年に港まつりとしてスタート、昭和45年に、市民道中踊りが加わった市夏まつりとなり、平成9年からはかがり火まつりと同時開催となった。震災以降はかがり火まつりは廃止された。
碁石海岸観光まつりは昭和28年に地元の青年団による催しから始まりとなっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・平成16年度から、大船渡市夏まつりと大船渡・かがり火まつりを三陸・大船渡夏まつりとして同日開催するとともに、平成17年度に、大船渡市夏まつり実行委員会と大船渡・かがり火まつり実行委員会が発展的に統合し、三陸・大船渡夏まつり実行委員会となった。
- ・平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しにより観光推進室が新設された。(平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当)。
- ・三陸・大船渡夏まつり実行委員会へ一括で交付していた負担金について、平成26年度から三陸・大船渡夏まつりと盛町夏まつりへの交付とした。
- ・市民活動支援事業を活用していた「三陸港まつり」については、継続的な活動であることから、平成27年度より三陸港まつり開催支援補助金として交付した。
- ・市民活動支援事業を活用していた「復興・大船渡全国ちんどんまつり」については、継続的な活動であることから、平成29年度より復興・大船渡全国ちんどんまつり開催支援補助金として交付した。
- ・「碁石海岸で開基まつり」は、平成29年度より碁石海岸開基まつり開催支援補助金として交付を開始した。
- ・三陸大船渡さんままつりは、平成30年度より「大船渡市初さんま・うに・アワビ・帆立・かき・ホヤ・わかめ祭」に統合する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、市の支援が必要。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 個別のまつり実行委員会への支援であり、限定される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ まつりの企画に工夫をもたせる。特にも、大震災後は催事内容を縮小しているため、基盤整備状況等の復旧状況を踏まえ震災前の水準に戻していくための工夫や検討が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、事業を廃止・休止した場合、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 削減によって、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・碁石海岸観光まつり及び三陸・大船渡夏まつりについては、事務局の移管(委託)を行なうことにより削減することは可能である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 実行委員会による運営のため、公平性は確保されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th>向上維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>●</td><td></td><td>×</td></tr><tr><th></th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		コスト				削減	維持	増加	向上維持				低下	●		×			×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上維持																					
低下	●		×																		
		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
事務局移管候補先である大船渡商工会議所や大船渡市観光物産協会の受入態勢が整っていない。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	・各まつり開催にあたっては、前年度の内容を総括し検証するとともに、必要に応じて見直しや新企画を取り入れながら充実を目指す。 ・三陸・大船渡夏まつりの一部、市が担当している業務の移管について商工会議所と、碁石海岸観光まつりの事務局移管について市観光物産協会とそれぞれ協議を行う。

- 2/2 -

(大船渡市)